

令和7年度
芽室町都市公園ストック再編計画策定業務

第3回ワークショップ議事録

と き 令和7年(2025年)12月6日(土)13時~16時
ところ 芽室町役場2F会議室7

令和7年12月
芽室町

スケジュール

時間	次第	対応者
13:00	開始・挨拶	・芽室町環境土木課 林 道路公園管理係長 ・芽室町環境土木課 橋本課長
13:05	今回の内容説明	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井 ・都市整備コンサルタント瀧田
13:20	質疑 (専門用語や図の見方など、意見以外の質問)	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井
13:25	ワークショップ開始 ・各タイプ別公園の必須事項 ・公園再編を進めていく順番など	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井
14:10	グループ発表 (各グループ5分程度)	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井 ・発表者 (A:加藤、B:平岡)
14:30	休憩	
14:40	芽室公園の再整備について説明	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井 ・都市整備コンサルタント瀧田
14:50	ワークショップ開始 ・整備検討イメージについての意見、要望、提案 ・より活用されるための提案など	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井
15:30	グループ発表 (各グループ5分程度)	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井 ・発表者 (A:加藤、小林、B:常通)
15:50	総括 (進行係) ・ワークショップの成果全般について ・今後の予定 (役場から)	・イメージ・ランドスケープ・プランニング酒井 ・芽室町環境土木課 林 道路公園管理係長
16:00	終了・挨拶	・芽室町環境土木課 林 道路公園管理係長 ・芽室町環境土木課 橋本課長

参加者名簿

(1)参加者

A班

	氏名	出欠
1	山田 美樹	○
2	加藤 寿法	○
3	岡田 幸造	○
4	青木 昇	○
5	長谷川 修	○
6	小林 優斗	○
7	鈴木 亜耶	

B班

	氏名	出欠
8	西村 有里	○
9	中村 満	○
10	柴波 慶子	○
11	平岡 早苗	○
12	常通 直人	○
13	松永 美香	
14	平岡 瑛士	
15	山口 陽飛	

(2)事務局

	氏名	所属
1	橋本 直樹	芽室町環境土木課課長
2	齋藤 和也	芽室町環境土木課参事
3	林 徹哉	芽室町環境土木課道路公園管理係長
4	白取 詩絵里	芽室町環境土木課道路公園管理係主任
5	酒井 裕司	イメージ・ランドスケープ・プランニング
6	酒井 美佳	" (ファシリテーター)
7	松本 美穂	" (ファシリテーター)
8	瀧田 裕道	(株)都市整備コンサルタント
9	高橋 覚	"
10	山本 理人	"
11	鹿野 悦史	"

参加者 11名

芽室町の公園を考えるワークショップ（第3回）議事録

1. 開会

- 芽室町林係長：定刻となりましたので、これより第3回芽室町の公園を考えるワークショップを始めさせていただきます。

私、本日の司会を務めさせていただきます、芽室町環境土木課道路公園管理係の林と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

開会にあたりまして、環境土木課の橋本よりご挨拶申し上げます。

- 芽室町橋本課長：皆さん、こんにちは。

土曜日の貴重なお時間を芽室町の公園を考えるワークショップ第3回目にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

今回が最終回となりますが、今回初めて参加される方もいらっしゃいますので、後ほど担当のほうから1回目2回目の振り返りもさせていただきますので、ご安心していただきたいと思います。

さて、芽室町ですが、雪が降るのが例年遅かったですが、今回雪が12月上旬に降りまして、環境土木課は除雪も担当しており第1回目の出勤がありました。

日中は暖かくて、朝は冷えこみますが、皆さんどうぞ車の運転には気をつけていただきたいと思います。

交通安全、交通管理も担当しておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

これまで、たくさんの貴重なご意見をいただいています。

町では、来年3月を目標に各公園の役割やタイプを決める計画、また、芽室町を代表する芽室公園の再整備構想を策定いたします。

この計画と構想は、皆さんからこれまでいただいたアイデアを参考に、今後まとめていく予定となっています。

本日は、大きく2つのテーマについて、ワークショップが進められます。

予定では16時までの長時間となりますが、楽しい時間となることをご祈念いたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

- 芽室町林係長：橋本課長ありがとうございました。

以降については、芽室町公園ストック再編計画に関わっていただいている、イメージランドスケープの酒井さんの進行で進めさせていただきます。

- 酒井：みなさん、こんにちは。

土曜日の貴重なお時間にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今日で第3回目ということで、ワークショップは最後ですが、ここで全部決まるというわけではなく、今後も発信の機会はあると思います。

まず、前回もそうですが、はじめにお願いが1つ2つあります。

記録用にワークショップの写真を撮らせていただきます。

誰かの顔を大きくアップにして使うことはありませんので、ご協力をお願いいたします。

それと、皆さんでお話している内容を拾い上げてニュースレターを作っているのですが、ホームページにも出ています。

そのために録音もさせていただきます。

こちら、誰が何を話した、というわけではなく、文字起こしのために使わせていただきますので、ご協力をお願いします。

ワークショップ中、お飲み物は自由に飲んでください。

お手洗いも自由に立っていただいてもかまいません。

よろしくお願いします。

今日は、課長さんからもお話ありましたが、大きく2つの作業をいたします。

前のほうにも書いていますが、前半は公園再編を進めていくにあたって、今まで1回目は外で実際にモデル地区を歩いていただいて、どういう公園がどういうふうに配置されているのか。

その中には似たような公園があるというような話もありました。

この公園を今後よりよく使っていただくために、どこの公園がこういうような機能を中心にしよう、というのを考えていく。

そして、再編していくというのが、今回のストック再編と言われる内容です。

なんとなく、公園の再整備、再生というと傷んだ遊具や休憩施設が壊れているから、新しくなくては、というイメージありますが、もっと大きな考え方です。

将来的に町で維持管理運営をする、皆さんが地域で運営していく中でも、できるだけ多くの空間をいいように使っていただくために、似たような規模、機能の公園がまとまっているのではなく、バランスよく配置されることで、子どもを中心に遊べるもの、大人たちが使える公園というのを、公園全体で考えていこう、というのが、町のストック再編の計画です。

今まで1回目2回目では、モデル地区5つの公園を配置するにあたってどんなことが大切か、どんな機能が必要かというようなことを話し合ってきました。

本日は、もう少し、今まで見たものを具体的に、全町的にするかを考えます。

後半は、芽室公園、前回はどんな公園で、どんなゾーンで、ということをざっくり考えていただきました。

今回はたたき台となるような案を作ってきましたので、それを見ながら、もう少し具体的な公園の将来像をざっくりばらんに話していただければと思います。

2. ストック再編について

- 酒井：これから公園のストック再編について、都市整備コンサルタントの瀧田さんからお願いします。
- 瀧田：皆さん、こんにちは。
都市整備コンサルタントの瀧田と申します。
私のほうから、ストック再編について9月27日、10月26日と過去2回のワークショップ

を開催しましたので、ここまで開催されたワークショップで我々から提示した資料、皆さんのご意見含めて、改めて復習の意味を兼ねて、簡単に資料の1でご説明したいと思います。

その前に資料の一番下にニュースレターの3号というのがあります。

前回、2回目のワークショップの内容を簡単にまとめていますので、ご覧ください。

今回、既存の公園をどういうふうにしていくか。

町内の52箇所の公園を対象としました。

内訳としては、児童公園が27箇所、近隣公園・地区公園が7箇所、総合公園が芽室公園の1箇所、その他緑地が17箇所です。

図面を見ると分かる通り、公園の配置やバランスは適正になっている状況が伺えます。

しかしながら、児童公園と言われる公園が地域の実情や、必ずしも児童だけが使っているというわけでもなく、せっかくのスペースがうまく使われていないなどが散見しています。

それらの公園を今後、どのようなパターンに変更していくのがいいだろうか、という話です。

様々な地域事情、社会情勢、公園の特性、色々と条件付けをし、子ども型、高齢者型、休養型、交流型、緑地型と5つの種類に分類して整理してはどうかと提案しました。

それらを整備するとどんなイメージになるだろうか、ということで、イメージパースを書いたのがこちらです。

子ども型は遊具中心の公園。

高齢者型は健康器具や健康活動づくりを優先とした公園、交流型は色々な人が集まる公園ですから、多種多様なものを取り揃えた公園。

休養型は、休養に必要なベンチなどの施設、緑地型は樹木などです。

最終的にこういったイメージになるかな、と思います。

第1回目のワークショップの際に、どういうふうに検討するか、ということで、見学コースを設け、皆さんに芽室公園をスタートし、5箇所の公園を見てもらいました。

ワークショップの中で、色々な意見が出ています。

芽室公園は総合公園ですので、町民のみなさんが使えるような交流型が基本だ、と。

イリス公園は新しい公園ですので、子ども型ないし交流型と。

残り3つの公園は似たような公園で、なかなか何がいいか意見が異なる状況でした。

本日は5公園をそれぞれまとめて提案した型に対して、こういうことが必要じゃないか、こういった施設が必要じゃないか、とそういったことを考えていただきたいと思います。

今の52公園の振り分けはこちらです。

52公園のうち、子ども型7箇所、高齢者型3箇所、交流型18箇所、休養型8箇所、緑地型16箇所となっています。

交流型は先程いったように、大きい公園。

芽室公園や芽室南公園、こういった大きな公園はみんなが使えるように、街区公園、小公園は周辺の人が使うものとして考えています。

本日はこういったように事業を進めていくにあたって、どう進めていけばいいかというのを意見いただければと思います。

今日いただいた意見を参考に今後の計画を進めていければいいと思っています。

よろしく申し上げます。

●酒井：ありがとうございます。

1回目現地を見て、2回目どんな話をしたかを今お話いただきました。

実際に計画いただいた5つの公園が実際にこの絵になるというわけではなく、あくまでも子どもに特化したらこんな感じかな、という絵です。

子ども型になったら、子どもしか入れない、というのではなく、当然子ども型に親が一緒に来たり、高齢者の方が遊んでいる様子を見ていただいたり、そういうことは問題ありません。

そしてこの絵ですが、全部同じような大きさの公園に見えますが、公園の大きさはまちまちです。

今説明があったように、子どもの遊び場、法律で児童公園という名前でした。

ある時代から、街区公園という名前に変わりました。

子どもだけでなく、地域の色々な人がその空間使えるよね、と変わっていきました。

まさにそれを機能として違いをつけていこうというのが、今回の計画となります。

5つのモデルの公園を考えていただきました。

今テーブルにある表が、2回目のワークショップ成果で、この公園はこういうパターンがいいのでは、とご提案いただいたものです。

前回、子ども型にしていたが、なぜ高齢者型に？というものもありますが、どんな機能や施設をもたせればいいのかをグループで考えていただければと思います。

表の左から4番目に、こんな施設が必要だね、こんな機能が必要だよね、と。

例えば高齢者型であれば、座ったり憩ったりする場としてベンチは必要でしょうし、高齢者の方々がこんな使い方をするように、若い子と集える機能が必要だよね、などざっくばらんに書いていただきたいと思います。

その後、芽室の町全体として、高齢者型はこういう施設や機能が必要というのを2つずつくらい出していただければと思います。

まとめていくのが一番右の表です。

その後、全体を見て、どんな公園、どういったところから先に手を付けていくべきか、そういうことを後ろの白い紙に書いていただければと思います。

現在お時間20分になりました。

これから45分くらい作業をしていただきます。

14:10くらいに発表を開始したいと思います。

ご参加者の方に発表していただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

3. グループワーク

●A班

(芽室公園)

意見なし(※芽室公園については、後半検討を行うため省略)

(緑栄児童公園)

- ・健康遊具は使っていないように思います。
- ・ストレッチできるような遊具があるとよいのではないのでしょうか。
- ・地域の方と話し合っって公園の遊具を決めてほしいと思います。
- ・再編として分けることは必要なのではないでしょうか。
- ・駐車がほしいです。
- ・健康遊具があると、子どもとの交流ができるのではないかと思います。
- ・楽しみながら運動できるものがあると励みになると思います。
- ・園路で自転車は使うだろうか。
飽きてしまうのではないのでしょうか。
- ・現在も公園内を歩いている姿があるので、歩くコースがあるとよいのではないかと。
キロポストを表示するなどできるといいのではないのでしょうか。
- ・ここは運動、散歩の場ではないのでしょうか。
- ・段差のある園路など、簡単な道と難しい道、両方があるとよいと思います。
- ・桜など、花見のできる場所だとよいと思います。

(西町児童公園)

- ・高学年の子が遊べる、アクションスポーツの入口となるような施設があるとよいです。
次の時代に向けたものになると思います。
- ・単純に子ども型と言っても、小さい子と大きい子で違うと思います。
- ・ふわふわドームがあるとよいと思います。
- ・幼児用の自転車コースのようなものがあるとよいのではないのでしょうか。
- ・それはあまり使い方をイメージできず、わかりません。
- ・キャッチボールなどの球技ができるようになると思います。
他にも、3 on 3 や、ピッチングができるようなコンクリート壁があるのもよいと思います。
- ・水遊びができると思います。
水遊び施設にはベンチなどの休憩施設も併せて必要だと思います。
- ・ロングすべり台があるとよいです。アスレチックと一体になっているようなものだとよいと思います。

(緑町児童公園)

- ・桜が印象的な公園だと思います。
- ・桜や梅、ツツジなど、色々な花木があるとよいと思います。
- ・季節ごとに楽しめる花壇などがあるとよいです。
- ・花見のための公園とするのはどうでしょうか。
- ・日陰になるような場所をつくる必要があると思いました。
- ・大きめのトイレがあると便利だと思います。
- ・あえてシンプルな公園にするのもよいと思います。
- ・冬の時期には子ども型にできるとよいと思います。
採暖室をつけてあげてほしいです。

- ・移動式のベンチなどを設置するとよいのではないのでしょうか。

(イリス公園)

- ・人気の公園ですよ。
- ・バランス型になるのではないのでしょうか。
- ・小さい子から高学年まで楽しめるような公園になるとよいと思います。
- ・みどり公園（緑町児童公園？）とつながるといいです。
- ・大人も使えるアスレチックがあると面白いと思います。

(交流型で大切なこと)

- ・バランスよくあることが大切だと思います。

(高齢者型で大切なこと)

- ・楽しみながら運動できるのは重要ではないのでしょうか。
- ・休憩できることは大切だと思います。
- ・駐車場があるとよいと思います。

(子ども型で大切なこと)

- ・球技ができることは大切だと思います。
- ・自転車の練習ができるとよいと思います。
- ・それぞれの公園が特色ある公園になるとよいと思います。

(休養型で大切なこと)

- ・トイレがあることは大切だと思います。
- ・日陰は大切です。

(緑地型で大切なこと)

- ・歩く園路は整備してほしいです。
- ・犬の散歩に使われており、冬は雪捨て場になっているイメージです。

(どんな公園から進めると良いか)

- ・子ども目線が最も重要だと思います。
- ・高齢者はあまり使っていないように感じます。
- ・芽室に人が来る公園をつくとよいと思います。
- ・特色ある公園づくりが大切だと思います。
- ・新しさを感じられる公園だとよいと思います。
- ・子どもが行きたくなるような公園はちりばめるとよいと思います。
- ・コンビニや住宅街の近くの公園から始めるとよいのではないのでしょうか。
- ・西町児童公園でしょうか。
- ・葉っぱの落ちない木を整備してほしいです。

●B班

(公園全体について)

- ・雨宿りできる場所がほしいです。
- ・屋根のある場所があるとよいですね。
- ・日陰が必要だと思います。
- ・子ども型、高齢者型、交流型には木陰が必要だと思います。
- ・水飲場的な水道があるとよいです。
- ・四阿、テーブルや椅子がついているものがいいです。
- ・子ども型、高齢者型、交流型にはベンチが必要だと思います。
- ・公園に共通して、トイレが必要だと思います。
- ・災害時の避難について大切な事項だと思います。

(芽室公園)

意見なし（※芽室公園については、後半検討を行うため省略）

(緑栄児童公園)

- ・四阿があるとよいです。
- ・段差のない公園になるとよいと思います。
- ・散歩ができる公園だとよいと思います。
- ・花見ができる公園だとよいと思います。

(西町児童公園)

- ・住宅への防音のため、立木が必要ではないでしょうか。
子どもたちの声が響くと思います。
- ・遊具は必要だと思います。
- ・外灯や公園灯が必要だと思います。
- ・フェンスがあるとよいと思います。
- ・土のグラウンドを整備すれば、用途も広く使えてよいと思います。
- ・ボール遊びが安心してできるように、道路側にバックネットがほしいです。
- ・遊具のあるスペースと、広くてボール遊びができるスペースをゾーンとして分けてみるとよいと思います。
- ・レクリエーションができるような公園だとよいと思います。
- ・バスケの3on3ができるようになればよいと思います。

(緑町児童公園)

- ・枯れやすいかもしれませんが、桜やツツジのエゾムラサキなど、花を楽しめるとよいと思います。
- ・1人掛けの椅子が、ほどよい間隔、距離感で複数あるとよいのではないかと思います。
- ・ゆっくりできる場所になるとよいな、と思いました。
- ・休憩できるような施設が必要だと思います。

(イリス公園)

- ・子どものおむつ替えが、男性でも女性でもできるようなトイレがほしいです。
- ・交流型なので、ソフトボール場が活用できると思います。
- ・芽室公園以外にも、BBQができる場所があるといいな、と思います。
交流型なので、町内会などでできるとよいかもしれません。

(交流型で大切なこと)

- ・行きやすさが大切だと思います。
- ・親しみやすさも必要ですね。
- ・交流型なので、他の世代を感じられるような公園になるとよいと思います。

(高齢者型で大切なこと)

- ・そもそも、高齢者型と子ども型を分ける必要があるのか疑問です。
- ・52箇所の公園のうち、分けないほうがよい公園もあると思います。
- ・そのままがよい公園もあります。
例えば、かいじゅう公園などです。
- ・多世代がいることが大切だと思います。
- ・歩けることも大切だと思います。
- ・休めることも大切だと思います。

(子ども型で大切なこと)

- ・ボールで遊べることは大切だと思います。
- ・暗くない、怖くない印象の公園であることが大切だと思います。

(休養型で大切なこと)

- ・のんびりできることが大切だと思います。

(緑地型で大切なこと)

- ・芝生のみです。

(どんな公園から進めると良いか)

- ・使われている公園から進めるのが大切だと思います。
- ・使われている公園として、やはり芽室公園からではないでしょうか。
- ・(芽室)南公園、イリス公園、あいあい公園、ピウカ公園、弥生児童公園、ひばり公園などは人気な公園だと思います。
- ・大きいところから始めれば、というわけではないと思います。
- ・リストや予算だけでなく、マップを見て順番を決めていただければと思います。
- ・地域の合意ができたところから進めるのがよいのではないのでしょうか。
- ・交流型から始めるのはどうでしょうか。
- ・型で進めると、公園整備が偏ってしまうように思います。
- ・地区の中で、子どもが遊べる場所は残しながら進めてほしいと思います。

4. グループ発表

●酒井：それでは、前半のワークの発表です。

だいたい5分くらいにまとめてお願いします。

では、A班から発表を始めたいと思います。

●A班（発表者 加藤）

- ・緑栄児童公園は、高齢者型という感じで進めるのであれば、楽しみながら運動ができるような公園がよいと思います。

例えば、歩くコースに何キロとか、ここからここまで何キロなど、案内看板があったり、荷重かけながら歩けるようなシステムにするなど、楽しめるのではないかと思います。

- ・それを終わった後に休憩するような場所が今の状態だと何もないので、休憩できるような日陰の場所があるとよいと思いました。

また、高齢者の方に使ってもらうのであれば、やはり駐車場があるといいのではないかと、という声がありました。

- ・西町児童公園は、子ども型という方向性ならば、球技ができるような公園がよいと思います。ただフェンスがあるのではなく、帯広の公園で見たことがあるが、コンクリートの壁にストラックアウトのような的があり、その横にはサッカーゴールの絵があり、サッカーの練習が1人でできます。

コンクリートの壁のようなものがあるといいのではないかと話もしました。

- ・子ども型なので、自転車の練習ができればよいと思います。

近年、道路で自転車の練習はハードルが高くなってきている。

ストライダーやキックボードなどの練習ができるものがあればいいのではないかと、と。

特色のある公園として作ってほしいです。

- ・緑町児童公園は、花見に使われているという話が当時から言われていましたので、花見公園という形で、トイレがある。

トイレだけでなく、子どもたちも休めるような日陰があったり、何かしら四阿のような役割のある、日の入ってこないものがあってもいいという話をしました。

- ・イリス公園は、大人も子どももという感じで、現状バランスがよい。

とても素晴らしいので、こういう形だね、ということでまとめました。

- ・緑地型は、人に来てほしいと思うのであれば、人の歩ける園路をつくとよいなと思います。犬の散歩などもできると思います。

町としてそういう考えではないのであればいいのですが。

- ・最終的に、どんな公園から進めていけば、ということですが、公園を見周ったりしているのですが、高齢者の人が使っている印象がなかった。

それよりも子ども目線で公園をつくり、特色のある公園をつくり、芽室町だけでなく、帯広や色々な所から人が来るような公園づくりを目指していく。

ロコミが広まれば、人も来るだろうし、こういった目線で公園を作っているとわかれば、住む人も増えるのではないかと。

- ・欲を言えば、葉っぱの落ちない木があるとよいな、という話もできました。

●酒井：それぞれの公園、型についてお話をいただきました。

今まで見た公園の中で議論を深めて、最終的に全町的に落とし込んでいくのであれば、こういうことを大切に、という話でした。

高齢者型は楽しみながらだったり、車で来る方のために駐車スペースを、子ども型は球技や自転車、休養型はトイレと日陰、交流型はバランスのいいもの、緑地型は自然を残すならいいのだけど、人が使うのであれば、人が通れるような園路があったほうがいいという話でまとめていただきました。

スケジュールは子どもの目線で将来も含めて考えること、町として特徴が出るようなものをきちんと整備をという話でした。

ありがとうございます。

続いてB班をお願いします。

●B班（発表者 平岡）

- ・まず、すべての型に共通する必要なものとして、日陰、雨宿りのできるものを建物で。ベンチ、トイレ、災害時に避難できるような施設が大事だという意見が出ました。
- ・高齢者型と子ども型は分ける必要があるのかな、という話になりました。
高齢者の方にとってみれば、公園の中で遊んでいる姿を見るのが楽しみだったりするので、使い方を限定するような使い方にしてしまうのでは、どうなのかな、と思いました。
- ・そういったことを前提としながら、高齢者型で大事なことは、歩けることと休めることが大事かな、と思いました。
- ・歩いてくる人もいると思うので、転ばないような段差のないこと、花見ができることも大事かな、という話が出ました。
- ・子ども型は、ボールで遊べること、暗くないことがよいと思います。
暗いがキーワードになるかと思います。
暗くない、怖くないというのは、北海道は15時半くらいになると暗くなってきてしまうので、他の型と比べても明るい公園になってほしいです。
- ・また、防音対策として周りに木があると思うのですが、見通しが悪い状態だと、防犯上不安なので、そういったことも特に気をつける項目として考えてほしいという話もでました。
- ・他にも、ボール遊びと遊具のゾーンを工夫すると、十分に楽しめるかなと思います。
- ・休養型はのんびり気ままに、です。
物で言うと、一人掛けの椅子があると遠慮しないで座れるかな、と思いました。
あとは、植物、桜やエゾムラサキツツジなどがあると眺めてじっくり時間が過ごせるかな、と思います。
- ・交流型のキーワードは行きやすさ、親しみやすさ、他の世代を感じられる、です。
- ・施設でいうと、おむつ替えを男性でも女性でもできるトイレですとか、ソフトボール場などはボールのほうが使えるので、楽しめるのではないかと。
BBQ場というの、茅室公園以外でも町内会でやっている人も多いので、あるといいな、という話がありました。
- ・最後緑地型は、落ち葉など木にしない、芝生だけの場所もあるといいかな、という話も出まし

た。

- ・優先するのは、使われているところからがよいと思いました。

特に人気なのが、(芽室)南公園、イリス公園、あいあい公園、ピウカ公園、弥生児童公園、ひばり公園の具体的な名前が出てきていまして、子どもたちが遠足で来ていたりとか、町外から来ている人もいる公園です。

大きいとかではなく、今使われているところから進めるのがいいのではないかという意見です。

- ・あとは、地区を偏らせない、パークゴルフを楽しんでいる人たちが同時に使えなくなる、ということがないように、利用者を分散できるような場所から始められるといいなという話が出ていました。

- 酒井：それぞれの具体的な施設や機能から、高齢者と子どもを分ける必要があるのか、という提案ですね。

それは最初から出ていまして、子どもが遊んでいるのを高齢者が見守り、というどちらかに特化する必要があるのかという話もありました。

高齢者が休んだり、憩えるものがつくれないという話ではないので、バランスを見ながら作っていくのが大切だな、と思います。

キーワードをあげていただけていますが、町全体で考える上で、大切な方向性や考え方だと思います。

進め方としては、地区や機能を偏らせないで整備していくことが大切ということで、エリアをバランスよくする。

機能も一斉に行うのではなく、ある程度分散して、そういったスケジュール感でやるべきではないか、という意見をいただきました。

A班もB班も全体に落とし込む大切なこと、スケジュールや進め方についてもポイントとなるようなご意見をいただきました。

ありがとうございます。

5. 芽室公園の再整備について

- 酒井：それでは、15時40分になりましたので、これから後半、芽室公園の再整備について作業をはじめたいと思います。

1回目2回目と芽室公園を見ていただいて、どんなゾーン、どんな場所が必要かということも前回ご意見いただいています。

そのゾーンや内容についてもご提案いただきましたので、実際に図に落としたりしたらどんなものになるかというのが、この構造図になります。

今日はこれについて、もう少し具体的な施設について、スケッチもありますので、こんな感じではないかというご意見いただきたいと思います。

それでは、前回の振り返りも含めて、瀧田さんお願いします。

まずは、公園ストック再編計画としての検討案について紹介と説明を瀧田さんお願いします。

- 瀧田：引き続きよろしくお願ひいたします。

芽室公園の再整備計画、前回の2回目のワークショップについて、資料2で簡単に説明させていただきます。

まず、これが芽室公園の現況です。

野球場や石碑、芝生広場、花菖蒲園などが配置されています。

芽室公園は大きく分けて4種類のエリアとなっており、機能に応じて東側から運動エリア、歴史エリア、レクリエーションエリア、花のエリアと分かれています。

それぞれの現況写真がこちらです。

そして、このゾーンをどのように見直すか、ということですが、案としてこちらの図を示しています。

基本的には現況のエリアを活かしたゾーニングとしていますが、レクリエーションエリアには交流ゾーン、水のゾーン、幼児ゾーン、駐車ゾーンの再配置を検討し、芽室神社との繋がりにも配慮しました。

こちらの全体のゾーニングについては、基本的な異論はなかったものと考えています。

それぞれのゾーンで見ますと、幼児広場に関する意見ですとか、BBQ広場の充実に関するご意見などがでました。

また、カフェの設置やインスタスポットの設置などによる花菖蒲園のイメージアップについての意見もあったほか、ドッグランの設置ですとか、3on3バスケットなどができるアクションスポーツコーナーの設置など、幅広いご意見をいただきました。

このような前回の意見を反映しました、芽室公園の再整備検討イメージ資料を資料3に取りまとめています。

2ページ目の図が前回お示ししたゾーニングをもとに公園内施設を再配置したものです。

東側のスポーツゾーンから説明しますと、公園PFI調査区域を除き、体育館、温水プール、テニスコート、野球場などの現状を活かしながら活用します。

続いて真ん中の歴史ゾーンについては、柏の林や記念碑、広場、BBQコーナーなどの現状を活かしながら活用し、四阿やベンチなどの休養施設の更新を検討しています。

続いて、レクリエーションゾーンについては、トイレや休憩施設などの建築物施設や、芝生広場、既存樹木等の現状を活かしながら活用することとし、ご意見の多かったウォータースライダーなどの更新や、幼児用のインクルーシブ遊具の設置、児童用の運動強化型遊具への更新を図るとともに、子ども向けの噴水広場の設置や、休養施設等の更新も図っていきたいと思います。

また、既存の建物の一角に、脱衣スペースを設け、利便性の向上を図りたいと思います。

次に、芝生広場には周回園路を設け、健康器具の設置を考えています。

さらに要望の多かったドッグランのスペースを確保したいと思います。

その他にも、イベント等の開催に配慮した形を考えています。

最後に花のゾーンです。

花菖蒲園の散策路や水路は現状を活かしながら活用したいと思います。

新たに木デッキを利用した花写真のスポットの設置や、キッチンカーによる駐車場のカフェ的な利用を図りたいと考えています。

3ページ以降に、各エリア、各施設のイメージをイラストで紹介しています。

レクリエーションエリアの水のゾーンでは、ウォーターライダーと幼児向けの噴水広場があります。

その他、芝生広場ゾーンでのイベント活用の例として、パフォーマンスやキッチンカーをイメージしたイラストとしています。

同じくレクリエーションエリアでは、子どもが喜ぶアクティブな遊具を配置した児童遊具広場と、誰もが楽しめるインクルーシブな遊具を配置した幼児遊具広場のイメージを掲載しています。

続いてのページには、芝生広場ゾーンの健康施設を備えた園路です。

園路には距離表示のイメージもしています。

また、途中にはドッグランを設置したイメージも掲載しました。

続いて花のエリアでは、木道や四阿の再整備による写真撮影スポットの設置イメージや、歴史エリアでのBBQのコーナーの充実イメージイラストを載せました。

花のエリアにおける、園路や四阿の整備イメージです。

こういった形で新しくなるイメージ写真です。

最後に、設置箇所は未定ですが、芽室公園のイメージアップにつながるモニュメントの設置や、アクションスポーツ広場の設置についても検討しています。

モニュメントについては、どこの場所にどのようなデザインのものを設置することが有効か検討していきます。

アクションスポーツ広場については、今後の公園PFIのエリアを含めて設置箇所の検討を行います。

説明は以上です。

今回の案は、ワークショップで出てきた意見を盛り込んだものです。

これで決まりというわけではありませんので、ご意見をいただければと思います。

よろしくお願いします。

●酒井：ありがとうございました。

今回、芽室公園については、構想、今後検討していく大本の考え方をまとめていくものになります。

エリアという話がありました。

この考え方はそのままでもいいだろう、という話を前回しました。

その中にある機能・ゾーンについては、多少場所がずれたりはしましたが、エリアを超えての意見は出ておらず、基本今の公園はいい形でよい使い方をされているという考え方でした。

それを踏まえて再整備すればよいという形でした。

基本的には、前回のご意見・アイデアを入れたら1つの形としてこういう形があるよね、という提案をいただいています。

前はゾーン、今回は平面図に具体的な絵が書いてあります。

皆さんの手元にも同じスケッチがあります。

あくまでもイメージで、固定した書き方はしていません。

雰囲気共有しながら、これから約30分程度、図や絵を見ながら、もう少しこうしたほ

うが、という話をしていただきたいと思います。

具体的な機能や場所など細かいことでも結構ですし、全体的なお話で、例えばドッグランはここがよい、などでもかまいません。

次の基本計画をつくるためのベースになる案ですので、アイデアベースでもよいので、多様なご意見を出していただければと思います。

15時30分から発表の時間になりますので、それまで話し合いをお願いします。

6. グループワーク

●A班

- ・マナーの問題もあるので、ドッグランの場所を固定しないほうがいいのではないのでしょうか。
- ・ドッグランは駐車場の近くに持っていき、歩道と分離したほうがよいと思いました。
- ・ステージは常設しないほうが、芽室公園らしさが残ってよいと思います。
- ・現在の採暖室とトイレの建物は色々な使い方ができる広場になるとよいと思います。
- ・採暖室とトイレは臨機応変な使い方ができるようになるとよいと思います。
- ・花菖蒲園のデッキは整備してきれいにしてほしいです。
- ・児童遊具広場の隣の斜面はソリ遊びができる場所です。
- ・夏も冬も楽しめる公園であってほしいです。
- ・児童と幼児の遊具は近くしたほうがよいと思います。
- ・神社の並木はじめじめしているので、少し切ってほしいです。
- ・(桜並木に繋がる) 駐車場は維持してほしいです。
- ・個人向けのBBQは駐車場と近いので、そのままにしてほしいです。
- ・団体向けのBBQは歴史の森全体でもよいかもしれません。
- ・歴史の森は、そのままという原則を維持しつつ、少し整理して便利になるとよいです。
- ・避難所として考えたときに、トイレには冷暖房がついているとよいと思います。
- ・歴史の森にもインスタスポットがあるとよいと思います。
- ・周遊できるようなスポットがあると、さらによいと思います。
- ・芽室公園を整備するにあたって、芽室町は国から助成を受けて公園を作成してほしいです。
- ・防災も配慮して再整備してほしいです。
- ・キッチンカーから出店料を取って、それを公園の運営などに使ってもよいのではないのでしょうか。

●B班

- ・イベントスペースはなぜここなのでしょう。
- ・ドッグランは中心寄りでなくてもよいと思います。
- ・児童遊具広場からトイレが遠いです。
- ・(桜並木に繋がる) 駐車場は狭いので、拡張するとよいと思います。
桜並木の中の園路を駐車場にすれば、キッチンカーやイベントでも使いやすくなると思いました。
- ・神社と歴史の森の間には信号がありませんでしたか。

- ・トイレの場所は2階建てのトイレにしてはどうでしょうか。
- ・BBQの広場も、トイレの近くにあったほうがよいと思います。
- ・歴史の森の右下は今ももう使われていないように思います。
- ・BBQは屋根付きのハウスがいいと思います。
- ・カフェやドッグランは有料で、PFIのエリアにあるといいと思います。
- ・歴史の森の顔はどこなのか悩みます。
- ・碑を見る場合も、周回できるようなルートがあるとよいと思います。
- ・レクリエーションゾーンと歴史の森が道路で分断されることに対し、改善してほしいです。

7. グループ発表

- 酒井：それでは、お時間になりましたがまとまりましたでしょうか。

それでは、次はB班からお願いします。

●B班（発表者 常通）

- ・今日初めての参加で、1回目2回目わからないまま発言をしてしまいましたが、最終的にこういう形になったときに、駐車場を大きくして（桜並木のほうまで広げれば）キッチンカーなども通行止にせずできるので、この辺の公園も使いやすいのではないかと思います。
- ・トイレはもう20年くらいになるので、改修して屋上2階建てにすれば、屋上から日高山脈を見るなど、眺望も見られる場所もできますし、先程より出ている、子どもたちの着替えなど、トイレの改修で複合的に考えられるのではないかと思います。
- ・BBQ広場は、場所だけでなく、屋根付きの施設があると、学校のクラスイベントなど、大人数が集まれる場所になる可能性がある。
- ・どうしても今、中心との行き来ができない状態なので、そういった動線もどうか考えられればよいと思います。
- ・PFIに有料のドッグランやカフェなどを要望していくことで、こちらのスペースが有効に使えるのではないかと、という話も出ました。
- ・遊具園は暗いイメージがあるので、趣のある外灯などをつけて、見に来る人が楽しめるような場所になるといいのではないかと思います。
- ・歴史については、碑を見てルートを解消できるような動線をつくったり、そういったものがあるとよい、という意見も出ました。
- ・モニュメントの場所は特定できませんでした。
- ・以上です。

- 酒井：車を停めるのが駐車場の機能ですが、今日現在だとそれだけでなく、そこからイベントやキッチンカーなどそういうことも考えては、ということ。

またトイレも古くなっているので、今は多目的で多様な目的を持つ建物があるので、そういったことを考えてはどうか、という話。

あとは動線の話ですね。

メインの動線が公園全体をスムーズに通れる、連続性が公園全体を使うためには必要。

どうしても真ん中は車道により今は使用しづらい。

公園の有料施設について、そういった話も出ました。

暗い場所という話もありましたが、そういったことデザインで解決するような話も出ました。

ありがとうございます。

それではA班お願いします。

●A班（発表者 加藤、小林）

- ・まず歴史の森のエリアだが、あまり進んで足を運ぶような場所ではないので、ここにもなにかインスタ的なスポットを設けるといいのではないかと、という意見が出ました。
- ・目的として夏も冬も楽しめる公園がいいな、との意見がありました。
- ・駐車場は維持してもらって、BBQ エリアも今までのどおり活用させてもらえるとありがたい。
- ・あとは、防災にも配慮してほしい、という意見が出ました。
トイレなどを広めにして、暖房だけでなく、冷房もつけて熱中症対策ができるように、そういうふうに建て直してほしい、との意見がありました。
- ・運営するにはお金もかかるので、キッチンカーが来るなら、出店料をもらって、公園の維持管理に当てたらいいのではないかと、という意見も出ました。
- ・コロポックルの場所を有効活用できればと思います。
- ・ステージは常設せず、芝生が広がるほうが芽室公園らしい、との意見がありました。
イベントのときだけ仮設でやってほしい、という意見がありました。
- ・ドッグランの位置ですが、B班のPFIの位置の話もありましたが、イベントある際に場所的に悪い、との意見がありました。
ここに置くなら仮設か、常設なら別の位置にするのがよいのではと思います。
- ・小さい子と中学年、高学年が離れていると、親御さんが目をどこに向けたらいいかわからない。
どちらかというのとまとまっているほうがいいのではないかと思います。
- ・ソリ滑りできるような絵だと思うのだが、実現してほしい。
- ・インスタもこんな感じになるのであれば、いいのではないかと、という話も出ました。
- ・写真スポットも1箇所ではなく、何箇所かがあると、人が足を運ぶのではないかと思います。
体育館も利用者がたくさんいるので、そういった人に巡ってもらえるような形があれば、という話が出ました。

- 酒井：どの季節でも楽しめる場であってほしい、防災の場としても大切な場所であるという話、大きな広場というのが芽室公園の大切な風景として残してほしい、幼児と児童の遊び場について、離して違う場所がいいという声と、親が見守るという視点では近い場所がいいのか、という話があります。

また、公園を維持管理できるアイデアを公園の中で作っていく、そういうアイデアが大切だという話だと思います。

ワークショップの話は以上になります。

この基本構想は構想ですので、これをベースにスケジュールを組んで実現に向けて行くと思います。

本当にそのベースを皆さんのご意見をいただきながらまとめているところです。

ありがとうございます。

プログラムが盛りだくさんでしたし、ストック再編はかなり高度な話で3回で行うのは最初は厳しいと思っていました。

しかし、内容も濃く、多岐にわたったご意見をいただけたと思います。

これから計画をつくるなど具体的になっていく際に、必ずベースとして役立っていくと思います。

まずはワークショップの係としてありがとうございました。

それでは、林係長さんのほうからお願いします。

8. 閉会

●芽室町林係長：私のほうから今後の予定について説明させていただきます。

ワークショップでいただいたご意見を踏まえまして、芽室町都市公園再編計画と芽室公園再整備基本構想を策定いたします。

この計画づくりはパブリック・コメントとあって、町民の皆さんのご意見を幅広く伺う仕組みを使う予定です。

こうなったらいいなということや、ここが気になるな、ということをご意見をいただければ嬉しく思います。

令和8年度につきましては、芽室公園の基本計画と基本設計に入ります。

基本計画というのは公園の全体像を決める段階になります。

例えばどこに何を配置するかなど大きな方向性を決めます。

その次の基本設計については、もう少し具体的な内容を決めていく段階です。

広場の大きさはどれくらいか、遊具はどんな形にするかなどより詳しいところを詰めていきます。

どちらの段階でも使う方の声が大事ですので、皆さんと意見交換をしたいと考えています。

皆さんと進める公園づくりですので、これからも色々な場でご意見聞かせていただけると嬉しいです。

本日はありがとうございました。

では、閉会にあたりまして橋本課長よりご挨拶させていただきます。

●芽室町橋本課長：皆さんお疲れ様でした。

13時から16時まで大変長い時間をお疲れさまです。

発表を聞いていて、我々が気づかないような貴重なご意見をいただきました。

今後は町としましても、この意見を参考に構想などを策定して行きたいと思います。

芽室町といえば芽室公園が顔になっており、その中でも特に噴水の話の色々なところから良く聞きます。

夏は記録的な猛暑が続き、噴水が大人気でした。

記録的な高温もあり、芽室公園の噴水の水がぬるいという意見もありました。

どンドン水を足していくのですが、それによって冷たいと集まってくるという意見もありました。

大変人気な水の施設ですので、残していきたいと思っています。

最近気候変動で色々あるので、今日いただいた意見を踏まえて考えていきたいと思っています。

引き続きこのような機会を設けてまいりますので、また参加していただければ嬉しく思います。

本日はどうもありがとうございました。

●芽室町林係長：橋本課長ありがとうございました。

それでは、以上をもって本日のワークショップを終了させていただきたいと思います。